平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	基礎学力講座・国語(Basic Aptitude Course: Japanese)【導入クラス】			授業コード	A031614
担当教員名	坂井　美穂,安田　幸夫			科目ナンバリングコード	A00101
配当学年	1	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	これは選択科目ですが、入学時の日本語プレースメントテストで受講対象と判定された学生は必ず履修して下さい。				
受講心得	小型の国語辞典または電子辞書を毎回持参することをすすめます。ノートも用意したほうがよいでしょう。授業中に教科書の練習問題を解いてもらいますので、教科書を持参するのを忘れないこと。				
教科書	①日本語検定委員会(編)『日本語検定4級公式練習問題集』(東京書籍) ②日本語検定委員会(編)『ステップアップ日本語講座　中級』(東京書籍)				
参考文献及び指定図書	『三省堂国語辞典　第七版』(三省堂)、江守賢治『漢字筆順ハンドブック　第三版』(三省堂)、朝日新聞出版(編)『日本語きほん帳』(朝日文庫)、朝日新聞出版(編)『らくらくマスター日本語常識ドリル300問　漢字編』(朝日文庫)、タカハシマコト『その日本語、お粗末ですよ！』(宝島新書)、北原保雄『勘違いの日本語、伝わらない日本語』(宝島新書)。				
関連科目	社会参画入門、社会参画実習1、文章表現基礎講座、英語1・2、情報リテラシー1・2				

授業の目的	1年次の「基礎学力講座・国語」は大学での勉学に必要な最低限の国語力の養成を図ることを目的としますが、大学入学時点で国語力が必ずしも十分ではない学生は一般の国語クラスで受講すると授業内容が消化不良になる恐れがあるため、別途開設される”導入クラス”で初歩的・基本的な国語の学習を行い、後期の「文章表現基礎講座」(必修)の受講に備えます。
授業の概要	クオーター制で、週に2回の授業があります。第1クオーターの第3回はこの科目のオリエンテーション。第4回から第15回まで2冊の教科書を並行して学んで行きます。毎回、課題演習があります。第16回に授業内容についての判定試験を行います。それに合格しなかった人には続けて第2クオーター(第17回～第31回)を履修してもらいます。授業内容は第1クオーターの分に敬語が追加され、判定試験は第32回に行われます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 ： 第1回・第2回：フレッシュマンセミナー・スタートアップ。	
第 2 週 ： 第3回：オリエンテーション。授業の進め方、出欠の取り方、遅刻・早退の取り扱い、試験の行い方などについて説明し、成績評価の方法にも触れます。 第4回：文法(1)	第3回：復習：伝達事項の再確認。 予習：教科書の該当箇所。
第 3 週 ： 第5回：文法(2) 第6回：語彙(1)	予習：教科書の該当箇所。
第 4 週 ： 第7回：語彙(2) 第8回：言葉の意味(1)	予習：教科書の該当箇所。
第 5 週 ： 第9回：言葉の意味(2) 第10回：表記(1)	予習：教科書の該当箇所。
第 6 週 ： 第11回：表記(2) 第12回：漢字(1)	予習：教科書の該当箇所。
第 7 週 ： 第13回：漢字(2) 第14回：漢字(3)	予習：教科書の該当箇所。

第 8 週 : 第15回:総合問題 第16回:第1クオーターの判定試験	予習:教科書の既習箇所の内容の再確認。
第 9 週 : 第17回:敬語(1) 第18回:敬語(2)	予習:教科書の該当箇所。
第10週 : 第19回:文法(1) 第20回:文法(2)	予習:教科書の該当箇所。
第11週 : 第21回:語彙(1) 第22回:語彙(2)	予習:教科書の該当箇所。
第12週 : 第23回:言葉の意味(1) 第24回:言葉の意味(2)	予習:教科書の該当箇所。
第13週 : 第25回:表記(1) 第26回:表記(2)	予習:教科書の該当箇所。
第14週 : 第27回:漢字(1) 第28回:漢字(2)	予習:教科書の該当箇所。
第15週 : 第29回:漢字(3) 第30回:総合問題(1)	予習:教科書の該当箇所。
第16週 : 第31回:総合問題(2) 第32回:第2クオーターの判定試験	予習:教科書の既習箇所の内容の再確認。

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
備考	この科目の単位は卒業要件には算入されませんが、「基礎学力講座」の合格認定が工学部では「卒業研究」の、経営経済学部では「ゼミナールⅣ」の着手条件となります。ただし、外国人留学生にはこれは適用されません。また、この科目の単位は半期に履修登録できる単位数(上限25)に含まれます。	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	日常生活の中でよく使う言葉について意識を高めるとともに、さまざまな分野の文章に関心をもつこと。
【知識・理解】	日本語の意味や用法に関する基礎知識を身につけること。
【技能・表現・コミュニケーション】	日本語検定を受検し、本科目の分野について、合格する水準に達すること。
【思考・判断・創造】	日本語の文法にそう自然な言い回しを理解し、文意が正確に把握できること。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	**期末試験・中間確認等（テスト）**	**レポート・作品等（提出物）**	**発表・その他（無形成果）**	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		**10点**	**15点**	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	**50点**	**15点**		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	**5点**			
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	**5点**			

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	提出された課題を評価します。
発表・その他（無形成果）	授業への出席１回あたり１点を与えます。遅刻・早退はその半分です。